

令和5年度第1回瀬谷区地域福祉保健計画全域計画推進懇談会

令和5年7月6日(木) 14時～16時 会場:瀬谷区役所5階大会議室

令和5年度第1回瀬谷区地域福祉保健計画全域計画推進懇談会を開催しました。
第4期瀬谷区地域福祉保健計画の「基本目標を実現するために大切なこと」に定めている「健やかにこどもが育つ環境づくり」を広く浸透させるため、今回3グループに分かれ意見交換を行いましたので、内容の一部をご紹介します。

テーマ:「こどもたちが地域の様々な人と関わりながら育つためにできること」

参加者:学識経験者、地域の各団体、医療関係、学校関係、行政等(17名)

各グループで話題になったご意見

- 地域の活動やイベントに参加するこどもに役割を持ってもらうことで、達成感や自己肯定感を高めることができる。
- こどもとの接点を増やすには親の理解・協力を得て、地域と親がつながりを持つことが大事。その結果、こども達が親や地域の大人と一緒に交流でき、様々な人と関われる機会づくり、多世代と交流できる場になっていく。

① 最近のこども像は、どのようなものでしょうか。

- ・ いじめの有無は少し観察しただけでは気づかない。
- ・ 小学校1年生から不登校になる子も増えている。
- ・ スマホの普及が、こどもに影響を与えていると感じる。
- ・ 特別な支援が必要な子が増えて、個に応じた指導・支援が必要な子が増えている。
- ・ 地区のイベントに参加していない子が心配。どのように過ごしているか地域で把握できない。
- ・ コロナ禍で素直に指示に従う子が増えた一方、こどものメンタル面が弱くなり、ちょっとしたつまずきを乗り越えられない子が増えたと感じる。その結果、自己肯定感が低い子が多いと感じる。また、体力面が低下しているデータもある。

② 各団体の取組で、こどもが参加している取組がありますか。

- ・ コロナ前は高齢者施設で、保育園の園児が歌やダンスを披露してくれた。コロナ禍では触れ合わず交流できるように、小学生が模造紙で描いた絵を飾ってほしいと持ってきてくれた。
- ・ 民生委員が、こども食堂に来る子の様子から、個別の対応が必要な子がどれくらいいるか見ている。

- ・ こども食堂が中止になり、外で行う「花見の会」を企画。こどもたちにも役割を持ってもらおうと、会場の設営等を手伝ってもらった。大人たちから「ありがとう」「すごいね」等と評価されていたのが良かった。
- ・ 区社協では「子どもの居場所を考える円卓会議」を実施し、こども食堂や学習支援などのこどもの居場所活動のネットワークを作っている。そこで地域とこどものつながりについて話し合われたことは、各々の地区に持ち帰り実践されている。

③ 地域の中で、こどもたちが様々な人と関われる機会づくりや多世代で交流できる居場所づくり等、どのようなことが取り組みそうですか。

- ・ 登校できないこどもについて、地域で話し合いをしている。時間はかかるかもしれないが、学校ではない場所に、まずは家から出てきてもらう取組をしていきたい。
- ・ こどもが悩みを打ち明けられる大人が周囲にいない。そういう接点を少しずつ作っていきたい。
- ・ 学校・家庭・地域連携事業(学家地連)の「まちの教育座談会」で、「誰もが気持ちよく過ごせるまちに、私たちにできることは何か」をテーマに、こどもたちの発表があった。こどもたちが考えていることを地域の方が聞いてくれる、そういう機会を多く作っていきたい。
- ・ 未就園児・幼児・児童・生徒(中・高)で支援が切れがち。転換期に上手く移行していくことが大切。
- ・ 社会が変化し、働く親が増え、いろいろな形の家庭が増えてきている中で、こどもにとって何が大事かをもう一度みんな考えていく必要がある。
- ・ 瀬谷区では児童虐待の割合が高いという課題があるので、そのような課題に的を絞り、みんながどのように関われるか、解決するために何ができるかを考える場が必要である。

名和田先生(学識経験者)のまとめ

- ・ こどもを主体者とした取組が増えている。こどもに役割を与え、達成感や自己肯定感を高めていく取組が、まさに今のこどもたちに必要な体験・経験である。こどもの力を引き出し、それに対して大人がお礼をするといった発想は素晴らしく、このような発想でこどもたちと接していく必要がある。
- ・ コロナによって、色々なマイナスの変化があった。地域で活動する人たちは、この変化を念頭に置いておく必要がある。

今後の取組について

地域福祉保健計画の推進に向け、懇談会での意見を受けて、こどもに関する取組について、委員の所属団体をはじめそれぞれの役割や立場で話し合うことで関心を高めたり、既存の取組の活用等、可能な範囲で「できること」から取組を進めていただきますようお願いいたします。今後の懇談会で取組等を共有し、第4期計画の振り返りおよび第5期計画の策定に反映していきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。
※次回の懇談会は、令和6年2月下旬～3月上旬を予定しています。